

小学四年生

森野 水きん

れい和七年八月三十一日

四月から小学四年生になった。

じいじが 練習について書いてくれた。

ぼくも算数がすきだけど、走るのは苦手だな。

今年の夏は暑すぎて、じいじも練習りようを へらしている。

本を ろう読すると きんちようして声がふるえてしまうから、練習して

すらすら読めるようになりたいな。

れい和七年十一月二十七日

じいじが 美しさについて書いてくれた。

人の み力を探してみた。まず見つけたのは じいじの後ろすがただった。む

ねをはって歩くすがたが すてきだ。

パパに聞いたたら パパも じいじの後ろすがたが すきとのことだ。じいじ

の せ中を見て育ったと言って パパは笑った。パパも じいじと 後ろすが

たが にている。ふたりの 後ろ姿を見て ぼくは育つのかな。

れい和八年二月二十七日

じいじが やる気について書いてくれた。

じいじは ほのおのランナーだから やる気まんまん。

ぼくが 書くのに 手間どっていても あきらめずに書くのを待ってくれる。

いつも ぼくが 根負けしてしまう。

まだまだ じいじに ゆめのある話を書いてもらいたいな。